

第九回川尻・安浦地域包括ケアシステムを樹立する会

平成30年9月19日（水）17:30～18:30

テーマ「西日本豪雨災害の振り返り～地域(自治会6区とケアレッジ) たつきの役割～」

9月19日（水）開催の、第九回川尻・安浦地域包括ケアシステムを樹立する会（以後、樹立の会）のご報告をさせていただきます。

開催にあたり、近隣住民の自宅（約100件弱）へ1件1件訪問し、樹立の会の案内文を手渡しさせていただきました。大半の方は参加が難しいことを想定していたので、参加が難しい方の意見も吸い上げたいと思い、今回の豪雨災害に関する聞き取りを行いました。こんなに近くに居るのに、知らなかった情報が多くあり、情けないと痛感しました。

この度のプログラムは、①災害時の当法人に関する状況報告、②近隣住民から聞き取った内容の報告、③グループワーク（当施設が近隣住民の皆様へ何が出来るか、近隣住民の皆様が当施設に何を望んでいるのかの2つのお題を考え、5グループに分けて話し合う）、④グループ発表、という流れで行いました。

たつきは避難場所として指定を受けていませんが、今回の豪雨災害で50名近くの方が避難されました。でも中には、たつきが身近にありながらも正体不明のため、たつきに避難することを躊躇った方がいることも分かりました。たつきが地域に認知されるには、まだまだ改善の余地があります。

でも多くの方から、避難場所として提供してくれたことが安心となったり、何かあったら、たつきに行けばいいんだと認識して頂けました。

グループワークでは、近隣住民の方の意見を主に聞かせて頂きました。少しテーマから脱線することもありましたが、いっぱいお話を聞かせて頂き、やはり話す場が欲しかったのかなと思え、話す場を作ることが今回の目的でもあったので開催できて良かったと思います。

でも一番嬉しかったのは、近隣住民の参加者です。1年前、今回と同様の手法で樹立の会を行い、参加者は3名でした。多くの方が来てくれるだろうと樂觀視していたため、3名という現実に関心が折れました。6名しか増えて無いじゃんと言われますが、「9名もの方が来てくれた」と認識しています。

今回の会で、たつきの課題も見えてきました。皆様に認知して頂ける、施設作りに努めてまいりたいと思います。今後とも、樹立の会を宜しくお願い致します。

